

（5面から続く）

うに検証、点検評価されたのか。また、地域福祉の推進は、地域住民の主体的な参加が不可欠であり、地域福祉コーディネーターやコミュニティワーカー、認知症サポーターなど、多様な担い手となる人材育成を始め、それらを地域の中でネットワーク化させていくことが重要と考えますが、当局の所見を求めます。

保健福祉部長 福祉に関する市民アンケート調査に基づき、前計画に不足する新たな課題等を検証し、推進委員会において、前計画の評価と課題、今回の素案に対するご意見をいただいております。また、地域福祉コーディネーターは、平成18年から約30人の方が受講していますが、その後の活動は把握していません。今回の計画においても支え合い助け合う地域社会をつくり、各種ネットワークをつくる上でもコーディネーターは重要であると考えています。



竹市 信司 議員《市民連合》

場当たりの再編交付金活用

過去の再編交付金は、年度途中で基金に積み立てた初年度を除きいずれも単年度の建設事業と車両更新事業に充てられ、道路側溝整備事業に充当した際にはキャンプ座間周辺地域から事業箇所を選定し、その後想定する充当事業もキャンプ座間周辺3公園の整備事業と説明されていましたが、11年度予算の説明では今後5年間には学校のエアコンリース料を柱に据え、相模が丘の桜並木再生整備事業にも充てるという事です。二つの事業費を考えると、残りはその場に応じて充当するしかないという理解してよいのでしょうか。

また「全市的な事業を対象とすべきだ」という私たちの指摘に対してキャンプ座間周辺から選定する方がいいと国も示唆しているなどという話まであったわけですが、その方針は撤回したということなのか、確認を求めます。

企画財政部長 残りの部分は、その年の実施計画事業の中で予算化したと考えています。地域的な問題については、全市的な考えは持っていますけれども、今回新たに債務負担等で翌年度以降についての事業実施も可能だと国が示したものですから、リースを最優先したということでは

き、前計画に不足する新たな課題等を検証し、推進委員会において、前計画の評価と課題、今回の素案に対するご意見をいただいております。また、地域福祉コーディネーターは、平成18年から約30人の方が受講していますが、その後の活動は把握していません。今回の計画においても支え合い助け合う地域社会をつくり、各種ネットワークをつくる上でもコーディネーターは重要であると考えています。



沖本 浩一 議員《市政クラブ》

時間外勤務の管理・縮減について

本市の職員時間外手当支給実績は、平成18年度が1億800万円余、平成19年度が1億8700万円余、平成20年度が1億7100万円余、平成21年度が2億300万円

余となっている。平成20年度までは減少で推移したが、平成21年度は増加している。時間外手当の管理についてはこれまでも議論され「年間事務事業量の把握、勤務時間

管理の徹底をする」との答弁を得ているが、この実態からは、何らかの原因があるにせよ、管理運営に懸念を抱くものだ。現状を踏まえ、時間外勤務縮減について総合的な市長の所見を伺いたい。

市長 国から超過勤務の縮減に関する指針が出され、神奈川県では「時間外ゼロ革命宣言」が提示され、効果が見られていると伺っています。本市としては、今年4月から実施する組織改革の取り組みに当たり、改めて業務の実態把握を行い、仕事の割り振りを見直し、人員配置を心がけました。これによる効果は期待できるものと確信しています。時間外勤務の縮減は、経費管理と職員の健康管理の両面で重大な課題であり、今後とも継続して進めてまいりたいと思います。



三枝 浩樹 議員《市政クラブ》

実績と反省を踏まえフリーマーケットの再開を!!

6年前まで、かみが沢公園でフリーマーケットが行われていたと聞いています。しかし、近隣住民の苦情を受けて中止になった経過があるとのこと。中止になった経過をお示しください。

また、私は資源の再利用の観点から、あるいは家計の補助としてのフリーマーケットを求める需要は高いものと考えます。フリーマーケットを開催するために、公園等の利用方法につきましてお示しください。

都市部長 平成17年度までは、かみが沢公園でフリーマーケットが開催されていました。観点が、あるいは家計の補助としてのフリーマーケットを求める需要は高いものと考えます。フリーマーケットを開催するために、公園等の利用方法につきましてお示しください。

また、「都市公園内で物の売り買いをしてよいのか」という苦情が寄せられ、担当職員が現地を確認したところ、公園使用許可の内容に反した販売をしていました。公園の秩序維持を図るため、主催者の承諾をとり、許可の取り消しをしました。その後、フリーマーケット開催の申し込みは平成18年度以降ありません。公園の使用に当たっては、座間市都市公園条例に基づく届け出が必要で、使用目的や公園の秩序維持が図られるかどうかについて個々に判断しています。



伊田 雅彦 議員《政和会》

無料スポーツ施設 利用者の利便性向上を!

以前にも一般質問で取り上げましたが、相模川グラウンドなどのスポーツ施設の利用について、まだまだ予約をしままで、実際は無料スポーツ施設の利用がキャンセル、空き状態になっていることがあります。

現在、市ホームページのスポーツ予約システムには、「無料施設等のキャンセル連絡について」という項目があり、キャンセルの際の連絡を促す内容が記されており、当局の努力に対しては一定の評価をしています。さらに当局は

その解消に向けた方策をいかにとつていくのかを伺います。教育部長 ご指摘のとおり、予約システムのお知らせで注意を促しております。また、常習の無断キャンセル者、団体については、電話催告等の対策を講じています。さらに、平成23年10月から、予約システムを神奈川電子自

治体共同運営サービスに移行し、携帯電話での対応が可能となることによりまして、利用寸前のキャンセル、予約が随時可能となるシステムに更新する予定です。今後も利用者の利便性向上を図る中で、施設のより有効的な活用を図ってまいりたいと考えております。



小野 たつ子 議員《公明党》

市制40周年を機に 地域振興の推進を!

地域振興への取り組みには、持続可能な仕組みづくりが重要です。本市にはそれぞれ優れた地域資源、地域ブランドがありますが、座間地域ブランド全体の調整を図り、促進するための推進体制が必要であると思います。

例えば、市制40周年の関係事業をどこが統括・推進し、全体としてどうPRしていくのか、総合的見地からの戦略を活かしていくことが必要ではないでしょうか。人も商品も輝く場面があれば生きてきます。市内の催しの中でも、市民ふるさとまつりには座間のあらゆるものが集約され、産品が並び、多くの出店があり、参加する人々も喜々として集い、庶民のにぎわいを感じられます。そこ

にはふるさとまつりを楽しんでいる市民の姿が映し出されています。人と人とのきずなは地域再生に繋がりが、人も地域もきずなによって大きく変わります。ふるさとまつりを地域振興のため「ふるさとの日」として制定することについて改めて伺います。

市長 統括し、進捗管理を行う推進体制については今後の課題とし、ふるさとの日制定については継続し捉えてまいります。



請願・陳情の提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。なお、定例会ごとの締め切り日については、議会事務局にお問い合わせください。

☎046(252)8872

陳情の結果

3月定例会の各常任委員会で審査した陳情は、次のとおり決まりました。

◎ 採 択

陳情第46号 ひとり親家庭多子割引への保育料減免の実施及び中途入園児の年齢を4月2日年齢とする助成の実施に関する陳情

◎ 不 採 択

陳情第49号 非核三原則の法制化を求める陳情
陳情第50号 水道料金値上げに反対する陳情
◎ 継続審査
陳情第20号 座間市議会場に国旗掲揚を求める陳情
陳情第37号 米飯給食をふやすことを求める陳情

陳情第40号 児童デイサービス施設における看護師設置費用と事業所借り上げ費用の一部補助を求める陳情
陳情第51号 中学校教科書採択についての陳情
陳情第52号 TPP交渉参加反対に関する陳情

